

藤沢市
男女共同参画に関する市民意識調査
報告書

2014年(平成26年)3月

藤 沢 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	4
5. 調査結果の概要	4
第2章 調査結果の詳細	11
基本属性	13
(1) 性別	13
(2) 年齢	13
(3) 結婚の有無	13
(4) 配偶者の就労状況と雇用状態	14
(5) 同居の家族構成	14
A 男女の平等について	15
(1) 男女共同参画（社会）という言葉の認知状況	15
(2) 各分野における男女の地位の平等感	16
(3) 男女が平等になるためにもっとも重要と思うこと	29
B 結婚・家庭生活について	30
(1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	30
(2) 「女性が職業をもつこと」について最も望ましい形	34
(3) 男女の役割分担に対する考え方	39
C 仕事と家庭の両立について	50
(1) 就業状況	50
(2) 以前の職業をやめた理由	64
(3) 自らの能力を発揮していきいきと働くために必要なこと	65
(4) ワーク・ライフ・バランスの認知状況	67
(5) ワーク・ライフ・バランスの5年前との比較	70
(6) 男性の育児休業利用率向上に必要なこと	73
(7) 男女ともに介護休業取得が進まない理由	75
(8) ワーク・ライフ・バランス実現のために必要だと思うこと	77
D 社会参画について	79
(1) 地域活動への参加経験、参加をしていない理由	79
(2) ボランティア活動や地域活動の市民参加率向上のために必要なこと	84
E 男女の人権について	86
(1) メディアにおける性表現・暴力表現について	86

(2) セクシュアル・ハラスメントやパワーハラスメントの経験	95
(3) 夫婦間で暴力だと思われることについて	99
(4) 配偶者・恋人間で暴力を振るった、または振るわれた経験と暴力の内容	104
(5) 相談の有無、相談先、相談しなかった理由	122
(6) 「デートDV」という言葉の認知状況	126
(7) DV等の相談窓口の認知状況	129
(8) 「DV相談窓口案内カード」の認知状況	130
(9) DVを防ぐために重要だと思うこと	132
F 男女共同参画に必要な施策について	134
(1) 「男女が共に生きる情報紙 かがやけ地球」の認知状況	134
(2) 男女共同参画社会を実現していくために行政に望むこと	135
(3) 男女共同参画を実現していくために、社会の一員としてできること	138
調査票	139

